

別記様式第3号(県民提案型)

番 号  
令和6年月 日

山形県知事 氏 名 殿

〇〇の森を守る会  
会長 紅花 太郎

令和6年度山形県みどり豊かな森林環境づくり推進事業応募書

令和6年度において、山形県みどり豊かな森林環境づくり推進事業を実施したいので、令和6年度山形県みどり豊かな森林環境づくり推進事業募集要領第5の1の規定により、関係書類を添付して応募します。

令和6年度山形県みどり豊かな森林環境づくり推進事業  
事業提案書

令和6年1月15日

団体の名称

〇〇の森を守る会

(団体の事務所の所在市町村 〇〇市)

(新規 継続) <過去事業採択回数 4回>

1 事業総括表

(1) 事業名及び経費の一覧

(単位：千円)

事業区分	番号	事業項目	事業名	事業費 (A)+(B)	左の内訳		備考
					交付対象 経費 (A)	対象外 経費 (B)	
地域提案事業 (県民提案型)	1	③森や自然とのふれあい活動	地域で取り組む〇〇の森づくり	178	172	6	
小計				178	172	6	
合計				178	172	6	

(注)

- 1 事業項目の欄には、①豊かな森づくり活動、②自然環境保全活動、③森や自然とのふれあい活動、④木に親しむ環境づくりのいずれかを記入すること。
- 2 事業名には任意で付けた事業名を記入すること。
- 3 事業費、交付対象経費の欄には、番号ごとの(3)事業別計画表の事業費、内交付対象経費の金額を転記すること。
- 4 複数の事業区分で事業提案する場合は、区分毎に小計欄を設けること。
- 5 行が不足する場合は、適宜行を追加して記入すること。

- ・ 金額は千円単位で記入してください。
- ・ 事業費 (A+B) →2(4)事業個別経費内訳/支出内訳/合計から端数を切り捨てる。178,970→178  
 対象経費 A →2(4)事業個別経費内訳/支出内訳/小計から端数を切り捨てる。172,220→172  
 対象外経費 B →事業費 (A+B) から対象経費 A を引く。178-172→6

2 事業個別計画

(1) 事業総括表

番号	事業区分	県民提案型			
事業項目	①豊かな森づくり活動				
事業名	地域で取り組む〇〇の森づくり <過去事業採択回数 3回>				
事業の目的 及び概要	(目的) 「〇〇の森」を再生し、地域で親しまれる場所にする。				
	(概要) 〇〇市〇〇地域において、自治会や緑の少年団などの地域住民みんなが参加する森づくり活動を展開し、住民自身で森林整備活動を行う。				
連携・協力団体	〇〇小学校緑の少年団、〇〇地方森林組合				
事業等PR方法	(事業実施状況PR方法を記入) 市広報誌や回覧板への記載。SNSで活動状況の発信。マスメディアへの情報提供  該当する場合は✓を付ける ☑ 直近5年間に森づくり発表会への参加がある。(1回) ☑ 前年度SNSや広報誌を活用して情報発信をしている。 (やまがた緑環境税趣旨等のPR方法を記入) チラシやパンフレットに、やまがた緑環境税マークと環境税を活用した事業である旨を記載。				
	ホームページ活用	☑・無	SNS活用	☑・無	
	HPタイトル、URL (※ホームページ活用有の場合)	HPタイトル		例) みどり自然課HP	
		URL		例) https://www.pref.yamagata.jp/050011/kensei/shoukai/soshikiannai/kankyoenergy/050011.html	
	SNS名、アカウントID (※SNS活用有の場合)	SNS名		例) Twitter	
アカウントID		例) @midorishizennka			
安全管理体制又は安全管理手法	該当する場合は✓を付ける ☑ 救急箱を準備する。 ☑ 緊急連絡体制図を作成する。 ☑ 傷害保険に加入する。 ☐ 看護師、保健師を配置する。 ☑ 直近5年間に(公財)やまがた森林と緑の少年団等の機関の安全研修会に参加。 ☑ 草刈機、チェーンソーの安全講習に参加している(氏名 山形みどり) ☑ その他(上記以外のものや受講の予定がない場合は記載。 応急手当講習会、ネイチャーゲームリーダー養成講座)		始期: 事業・イベントの開催準備開始日 終期: 事業・イベント終了日		
事業実施予定期間	令和6年6月2日から令和6年10月31日まで				

(注)

- 1 事業総括表(1)事業名及び経費の一覧での番号ごとに2事業個別計画を作成する。
- 2 事業等PR方法は、広報誌・回覧板への掲載やホームページ・SNSの活用等、参加者の募集や事業に直接参加していない第三者へ周知する方法とすること。
- 3 事業実施期間の終期は、森づくり活動(イベント等)が終了する日とする。

(2) 事業総括表 別表

地域特性	(地域資源や地域特性等を活かした活動の場合、その関連を記入) 「〇〇の森」は里山として昔から親しまれてきた場所であり、.....	
事業効果	(波及効果等を具体的に記入) ・身近な地域の森づくりによって、地域コミュニティの活性化につながり、住民の森林環境保全への関心が高まる。 ・緑の少年団との活動で世代間の交流が生まれ、今後の地域を担う人材を育成できる。	
他の補助金の活用について	該当する場合は✓を付ける <input checked="" type="checkbox"/> 1 やまがた緑環境税だけが団体の財源である。 <input type="checkbox"/> 2 今回申請している事業以外にも団体の活動がある。その活動には他の補助金や自主財源などを財源として活用している。 <input type="checkbox"/> 3 2で活用している補助金等の名前 ( ) <input type="checkbox"/> 4 前年度も2と同様の活動をしている。	
次年度以降の事業展開予定	1 <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">継続</span> 2 拡充して継続 3 今年度限り 4 未定	(具体的な内容を記入) 地域住民を中心とした森林整備と少年団活動への協力を続けていく。
事業継続の理由	イ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">ロ</span> ・ハ (3年を超えて継続する場合、その理由を記入) (理由) 毎月の整備活動は参加者が徐々に増加、また緑の少年団活動として行う森林環境学習会は毎年新しい児童が参加しており、活動に広がりがあるため。 該当する場合は✓を付ける <input type="checkbox"/> 次年度以降の活動計画があり、連携する団体や参加者が増えていくことが見込める。(別添で計画書添付) <input checked="" type="checkbox"/> 地域に根差した活動として継続される可能性が高い ・連携している学校名 ( 〇〇小学校緑の少年団 ) ・連携している団体名 ( 〇〇地方森林組合 ) <input checked="" type="checkbox"/> SNS等の活用が見込める。 <input checked="" type="checkbox"/> 自力でスキルアップを行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 会員からの会費や活動参加者からの会費を徴収している。	

(注)

- 1 次年度以降の事業展開予定の欄には「1 継続」、「2 拡充して継続」、「3 今年度限り」、「4 未定」のいずれかを選択し、継続の場合はその具体的な内容を記入する。
- 2 事業継続の理由の欄には、募集要領第2の1の(11)イ、ロ、ハのどれに該当するか分かるように記入すること。
  - ・イ 中長期的な計画に基づくもの  
例) 今後3年間の詳細な事業計画(提出必要)
  - ・ロ 年々広がりを見せるもの  
例) 毎年新しい人が参加する事業、SNS等を用いて広く事業を周知している事業
  - ・ハ 実施主体の自助努力が認められるなどの発展性のある活動  
例) 会費等により自己資金が確保されている事業

(3) 事業個別計画表

実施 時期	実施場所	事業内容	事業量	目標 参加 人数	うち事業 実施主体 構成員数	事業費	内交付 対象経費
5~10月	〇〇地内	下刈り、枝 打ち	下刈り 〇〇ha5回 枝打ち〇〇 ha1回	100人	50人	178千円	172千円
7月	〇〇小学校	森林環境学習 会（緑の少年 団）	2回	40人	10人		
				人	人		
計				140人	60人	178千円	172千円

(注)

- 1 「参加人数」欄には、当日活動に参加する人数のうち、以下を除く人数を記入すること。
  - ① 活動の指導者や講師、役務費、委託料の対象となる作業者
  - ② 活動内容が木製品等の展示のみである場合の展示会場全体への来場者数（アンケートの実施、口頭またはチラシ等にて積極的にPRする場合はその限りではない。）
  
- 2 事業費、内交付対象経費の欄には、(4)事業個別経費内訳の事業費については合計の、内交付対象経費については交付対象経費の小計の金額の、それぞれ1,000円未満を切捨てた金額を記入すること。

(4) 事業個別経費内訳

【支出内訳】

(単位：円)

費目		金額	積算基礎	
交付対象経費	報償費	20,000	講師報償費@10,000円×2回=20,000円	
	旅費	1,480	講師交通費@37円/km×20km×2回=1,480円	
	需用費	資材費	18,150	木製PRプレート@6,050円×3個=18,150円
		消耗品費	1,290	救急セット(絆創膏、消毒液など)@1,290円×1個=1,290円
		燃料費	3,800	混合油1L@760円×5ℓ=3,800円
		印刷代	10,000	チラシ印刷(森林整備活動)@10円×500枚=5,000円 ポスター印刷@5,000円×1枚=5,000円
		計	33,240	
	役務費	10,000	保険料@100円×20人×5回=10,000円	
	使用料	12,500	刈払機@500円×5台×5回=12,500円	
	委託料	95,000	森林組合に委託(別添見積りのとおり) 軽作業@17,500円×2人+刈払機使用@20,000円×3人=95,000円	
小計	172,220	対象経費 A 燃料、使用料等を含む費用		
対象外経費	食糧費	6,750	お茶代@135円×50本=6,750円	
	小計	6,750		
合計		178,970	事業費(A+B)	

(注)

- 1 積算基礎となる単価が、別表2の標準単価を超える場合や指定がない経費については、見積書など積算の根拠となる資料を添付すること。
- 2 需用費のうち、消耗品費(用紙、プリンターインク、文房具等)の見積もり合計金額が、1万円以内の場合は、1によらず、見積書など積算の根拠となる資料は省略できるものとする。
- 3 対象外経費の欄には、別表1の交付対象経費以外の経費を記入すること(例：食糧費)。
- 4 旅費(費用弁償)は原則として隣県までを対象とする。(ただし、それ以外から呼ぶ必要がある場合は説明に必要な資料を添付する。)

## (5) 事業の説明に必要な資料

事業の内容について説明するために必要な資料として、必要に応じて下記の資料を添付すること。

なお、応募資料の審査に当たり、別途資料の提出を求めることがある。

- (ア) 具体的な事業内容がわかる資料（実施位置図、事業実施イメージ図など）（様式は任意）
- (イ) 地域提案事業（県民提案型）において、3年を超えて中長期的な計画に基づき本事業の活用を想定している場合は、計画書などその内容がわかる資料。



## 3 応募団体概要書

団体の名称	(ふりがな) ○○のもりをまもるかい					
	○○の森を守る会					
代表者職氏名	職名	会長	氏名(ふりがな)	紅花太郎 (べにばなたろう)		
事務所の所在地	○○市△△5-1					
設立年月	昭和	平成	令和25年	9月	会員数(構成員数)	40人
設立目的及び概要	≪設立目的≫ 荒廃しつつある「○○の森」を再生させ、里山として親しまれてきた場所を未来の子ども達に引き継いでいくため、地域みんなで森林整備を行う。普段は森づくり活動以外にも○○のような活動を行い地域住民との連携を図っている。					
これまでの参加人数の計画と実績		H30	R1	R2	R3	R4
	計画(人)	110	120	130	140	200
	実績(人)	115	125	135	145	150
団体の予算規模及び主な財源	会費等の徴収	有・無				
	予算300千円 うち会費68千円、みどり豊かな森林環境づくり推進事業交付金182千円、○○補助金50千円					
規約・会則等	有・無	県又は(公財)やまがた森林と緑の推進機構ホームページでの活動状況公開			可・否	
担当者職氏名	役職	事務局長	氏名(ふりがな)	孟宗 花子 (もうそう はなこ)		
連絡先及び文書通知先	郵便番号	000-0000				
	住所	○○市○○.....				
	電話番号	000-0000-0000				
	FAX番号	000-0000-0000				
	電子メールアドレス	aaaaa@bbb.jp				

(注)

- 1 規約、会則、会員名簿など、団体の概要がわかる資料を添付すること。
- 2 団体の予算規模及び主な財源の欄には、当事業も含めて団体全体の予算規模と収入額の主なものを記入する。
- 3 団体全体の予算規模と収入額の主なものの根拠となる、直近の決算書を添付すること。
- 4 担当者の連絡先は、平日の日中に連絡が取れる電話番号を記入すること。
- 5 個人情報については、審査など本事業に関する事務以外には使用しない。

4 事業者による自己チェックシート

該当するチェック欄に✓を記入する。

	チェック項目	チェック
事業の要件	1 やまがた緑環境税条例及びやまがた緑環境税基金条例の目的（森林の有する公益的機能の維持増進及び持続的な発揮に関する施策）に合致している。	✓
	2 他の補助金、交付金、負担金その他の財政的援助を受けている、又は受ける見込みのある事業ではない。	✓
	3 個人又は特定の事業者の利益、若しくは政治又は宗教的宣伝を目的とした事業ではない。	✓
	4 各種法令に違反していない。	✓
	5 事業の実施場所が県内である。（土地所有者等の同意を得ており、事業実施が可能）	✓
	6 主たる活動が施設又は設備の整備とみなされる事業ではない。	✓
	7 主たる活動が物品の購入や設置及び展示、贈呈のみとみなされる事業でない。	✓
	8 地域と協働による実施が可能にも関わらず委託している事業でない。	✓
	9 令和6年度内に完了する事業である。	✓
	10 3年を超えて継続する場合は、事業総括表別表に3年を超える理由が明記されている。	✓
団体の要件	11 対象事業の会計及び経理を明確に行い、報告することができる。	✓
	12 暴力団員等がその事業活動を支配するもの又は暴力団員等とその業務に従事させ、若しくは当該業務の補助者として使用するおそれのあるものではない。	✓
市町村の要件	13 主たる活動を専門業者等 <sup>※1</sup> に委託する事業ではない。	✓
	14 森林環境譲与税と同一の事業ではない。	✓
その他	15 やまがた緑環境税活用事業の普及啓発 <sup>※2</sup> に協力できる。	
	16 やまがた緑環境税活用事業等に関して実施する調査に事業終了後 <sup>※3</sup> も協力できる。	

※1 専門業者等には、地域で森づくり活動に取り組む団体等は含まない。

※2 普及啓発の内容は、事業参加者、地域住民、その他直接事業に参加していない第三者への周知や県が行う事業実施前後の情報提供、やまがたの森づくり発表会での発表のことをいう。

※3 事業終了後の調査とは、事業実施年度から起算して5年間（令和6年度事業を実施される場合は令和11年度まで）に実施する調査。調査内容は、活動実施状況（事業参加人数等）の確認や、やまがた緑環境税の評価・検証のためのアンケート調査など。

上記の事項を確認しました。

代表者 職・氏名 会長 紅花太郎